

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/03/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

下げ一服で修正高、一時70ドル台を回復

NY原油先物相場は、1バレル=60ドル台後半まで切り返す展開になった。3月20日には一時64.36ドルまで下落し、2021年12月以来の安値を更新した。米欧銀行の信用不安が根強く、下値を切り下げる傾向は維持された。ただ、その後は株価急落が一服したことで、原油相場でも安値修正の動きが優勢になり、23日高値は71.67ドルに達した。週末にかけては、米戦略石油備蓄（SPR）向け原油購入期待が後退したことで、70ドル台を維持することはできなかったが、前週比では大きく切り返した。

原油需給よりもリスク投資の地合が重視される展開が続いている。銀行の信用不安に対して、各国中央銀行が流動性供給を強化していること、UBSがクレディ・スイスを買収したこと、米政府が預金者保護の方針を確認していることなどが、リスクオフの地合にブレーキをかけたことが、原油相場を下支えた。また、21～22日の米連邦公開市場委員会（FOMC）で早期利上げ終了観測が強まり、米金利低下・ドル安が促されたこともポジティブ材料視された。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（3月17日時点）は、原油が前週比112万バレル増、ガソリンが640万バレル減、石油精製品が331万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

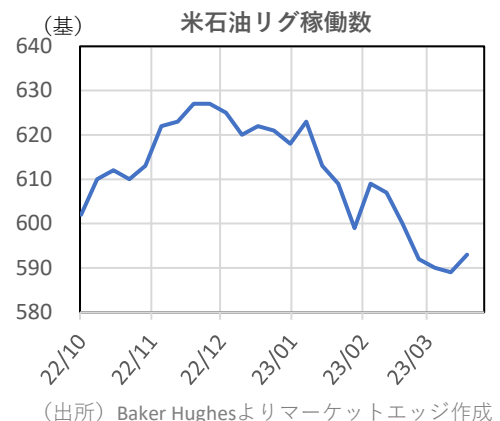
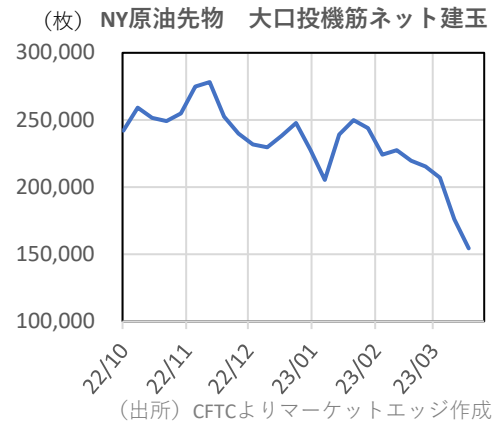
下げ一服で修正高目線も、不安定なマーケット環境が続く

引き続き米欧銀行の信用不安をどのように消化するのかが問われるが、下げ一服後の値固め、安値修正の目線になろう。パニック的なリスクオフ圧力は終息に向かっており、原油相場が急落地合を形成する必要性は薄れている。極端に不安定なマーケット環境が続くため、まだ突発的な急落再開のリスクも決して低くはないが、60ドル台中盤で下値を固め、70ドル台での取引時間を徐々に増やす展開が想定できる。

ただ、原油在庫は今年最高水準積み上がっており、短期需給に著しいひっ迫感が認められる訳ではない。グランホルム米エネルギー長官が戦略石油備蓄（SPR）向けの原油搬入には2～3年が必要との見通しを示したことで、SPR向けの大量購入が行われる可能性が低下したとの見方もネガティブ。引き続き信用収縮が金融市場や実体経済に大きな影響を与えるリスクも警戒されており、70ドル台前半から更に上値を試すような環境にもないだろう。安値ボックス気味の展開に留まり易い。

3月31日には中国の3月製造業PMIが発表される。ここで中国経済に対する信頼感を高めるような動きがみられると、買い安心感が強まろう。逆に改めて活動の拡大・縮小の分岐点である50を割り込むような動きがみられると、失望売りで60ドル台中盤まで軟化する可能性がある。中国経済に対する信頼感を高めることが可能か、重要イベントになる。

前週の米連邦公開市場委員会（FOMC）では利上げ終了時期の接近が強く意識されたが、米金利低下・ドル安が加速すると資産価格全体の下値がサポートされ易い。31日には2月PCEデフレーターが発表されることがイベントリスクになる。



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

